

(様式 4)

令和 6 年 5 月 31 日

令和 6 年度 第 1 回 大阪市立玉出小学校 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立玉出小学校

校長名 山岡 良知

日 時	令和 5 年 5 月 30 日 (木)	
場 所	玉出小学校 会議室	
出席者	委員 など	会長及び委員 7 名
	校 園	校長、教頭、首席 3 名
	区役所	保険年金担当課長 1 名
議題	(1) 学校協議会の目的等の共通理解 (2) 令和 6 年度玉出小学校の教育について (3) その他	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○資料をもとに、学校協議会の目的等について、共通理解ができた。	○学校協議会運営要項について理解をいただいた。
	(2) ○運営に関する計画について、年度目標や取組内容の理解を得た。	○校内での課題があるなか、目標を持って頑張ってもらいたい。 I C Tを活用しながらの学習を進めてほしい。
	(3) ○その他	○指標を達成できることも大切ではあるが、子どもたちのために教職員みんなで、無理をせず頑張ってもらいたい。 ○4 年ぶりに朝ご飯食堂を再開できた。月に 1 回取り組んでいく。地域の朝の社交の場としての役割を担っていきたい。 学校にご理解いただきありがたく思っている。 ○各最重要目標に対して目標を 3 つずつ設定している。最重要目標 1 の①について、昨年度割合が少し低かった (76%) のことだが、24% の子どもが「どんなことがあってもいじめはだめ」であると選択していないことに驚いている。アンケートで選択した内容について、理由がわかるようになればいいと感じた。様々なアンケートの回答理由がわかることで、学校での活動や運営の参考になる。 ○幼稚園で学んだことが小学校でどのように活かされているのか、説明等で理解できた。幼小交流の取り組みもよろしくをお願いします。 ○内容が精選されている。数値目標を設定し、達成するのは大変だ。新任教員が離職してしまう課題がある。若手教員への配慮を。 ○人のかかわりについて、言葉遣いひとつで聞こえ方やとらえ方が変わってしまう。叱る・ほめる子どもへの言葉がけは家庭でそれぞれ方法があると思う。トラブルを起こした場合に、今後「かかわるな」と話してしまう家庭もある。そのようなアプローチではなく、子どもが笑顔になれるようなアプローチ方法を共有できたらいいと思う。
協議資料	○令和 6 年度学校協議会メンバー、年間計画 ○式次第 ○学校協議会運営要項 ○令和 6 年度校時表 ○学校だより (4 ～ 6 月) ○運営に関する計画	
備考	傍聴者 [0] 名 保護者 0 名 地域 0 名	

